

新潟工科専門学校 シラバス (授業計画書)

科目名	インテリア演習 II				
担当教員	渡部 和久		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	<p>これからの住宅及びマンションのリフォーム、リノベーションに欠かせなくなる手法であるスケルトン・インフィルという考え方について学ぶ。特にインフィル部分を計画し、3Dで表現～模型製作へとつなげていく。住戸棟と商業施設棟と両方考えていく。</p> <p>1、模型製作の準備で、白模型を製作 2、スケルトン・インフィルの概要説明 3、3Dで間取りの製作～模型製作</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>今後のリフォーム、リノベーションを考えていく上で、新しい考えを構築していく。同時に模型製作をすることにより立体表現ができるようになり、細部まで表現できるようになる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<p>①超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 ②配布プリント等</p>				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	白模型製作 (練習課題) 一般住宅の白模型を手始めに製作する。 外構計画もしっかりと計画し、それを全員集めて街並み模型を製作する。		方法：スチレンボードの取り扱い方から性質を話し、曲げる方法、切る方法を学習する。 準備学習：カッター、定規の使い方を学ぶ。		
2	スケルトン・インフィルをモチーフとした、集合住宅模型を作成 各自住戸棟に1戸、商業施設棟に1戸インフィル部分を3Dで作成し、それを模型製作する。		方法：スケルトンインフィルの学習を再度行う。 意味をしっかり理解し、課題に取り掛かる。 準備学習：教科書、テキスト、プリントで復習する		
3	3Dソフトにて間取りを考える。 住戸棟では家族構成などを考え、部屋数などを設計し 商業施設棟では自ら考える店舗を設計する。		方法：マンションの間取りを学習する。店舗の構成をどのようにするか雑誌やインターネットなどで検索する。 準備学習：教科書、テキスト、プリントで復習する		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度や提出レポート、実習で作成した作品などの完成度で評価する 取組姿勢30% 演習・課題60% 出席率10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			リフォーム、リノベーションは今の時代ではなくてはならないものである。その手法の一つとして、スケルトンとインフィルという考え方である。今後の建築業界、及びインテリア業界では今後この考えが主流となると思います。特にインテリア業界ではインフィル部分をお客様に提案できるよう、理解し取り組んでもらいたいと思う。		
実務経験教員の経歴	一級建築士として建築現場監督業務を約10年携わる				